

コイズミ学習デスク 組立説明書（保証書付き）

このたびはコイズミ学習デスクをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この組立説明書をよくお読みのうえ正しく組立てしてください。
- 事故防止、安全のため、組立説明書に記載の注意マークをお守りいただき組立てしてください。
- 使用上や安全上のご注意は、別冊の取扱説明書をよくお読みください。
- 組立てしたあとも組替えや修理の際にお役立ていただくために、大切に保存してください。
- 文中のイラストは共通の為、現物と異なる場合がありますが、ご容赦ください。

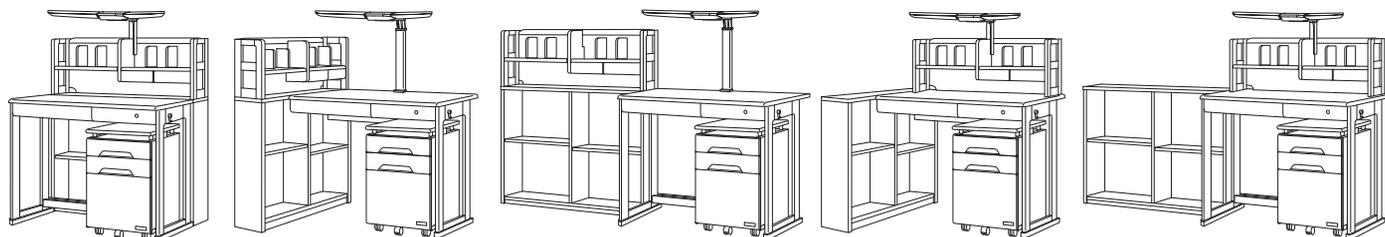
組立説明書のマークについて

- この説明書には下記のマークを付けています。
 - ⚠ 気をつけていただきたい注意内容
 - 🚫 行ってはいけない禁止内容
 - ❗ 必ず行っていただきたい指示内容
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- この説明書は、大切に保存してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

❗ 組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3、STEP4、STEP5と、用途に応じて5種類のスタイルに組み立てることができます。どのスタイルにするか決めてから「1シェルフ→2デスク→3デスクとシェルフの組み付け」の順に組立て方法のSTEPをご覧になりながら組み立ててください。

※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。



●STEP1
(スタンダードスタイル)

●STEP2
(ユニットスタイル)
※左右の組替えが可能です。

●STEP3
(パレットスタイル)

●STEP4
(カウンタースタイル)
※左右の組替えが可能です。

●STEP5
(パレットカウンタースタイル)

- 展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
- 力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

目次	1 シェルフの組立て方法……………P2	5 可動仕切板の取付け方法……………P8	9 ランドセルハンガーのカバンフックの取付け方…P10
	2 デスクの組立て方法……………P3～P5	6 照明器具の取付け方法……………P9	10 ワゴンの組立て方法……………P10
	3 デスクとシェルフの組付け方法…P5～P7	7 コンセントの取付け方法……………P9	11 分解と組替方法……………P12
	4 可動棚の取付け方法……………P8	8 ライトとコンセントの結線……………P10	12 コイズミ学習デスク保証書…P12
			13 お客様ご相談窓口……………P12

品番 WDF-875WW
WDF-876NS
WDF-877BS

❗ 必ず2人以上で作業を行ってください。

1 シェルフの組立て方法

※シェルフから組立てると少ないスペースで組立てできます。

■シェルフ付属品

A	B	C	D	E	F
ボルト(M6×35mm) GKU4BU635 GKU4BU635	連結ピン SZC8MB605	回転金具 SZC8MKN18	穴かくしキャップ SZCTAC18W SZC9AC18V SZC9AC18R	ナット用キャップ SZC4DC17W SZC4DC17V SZC4DC17R	樹脂棚ダボ SZC3TD14R
 ×2	 ×4	 ×4	 ×1	 ×7	 ×8
G	H	I	J		
ユニット連結金具 SZCTLKSUL	ボルト(M6×16mm) GKU4BU616	コンセントボックス KRE9SW10L	ボルト(M6×35mm) GKU4BU635		
 ×2	 ×6	 ×1	 ×1		

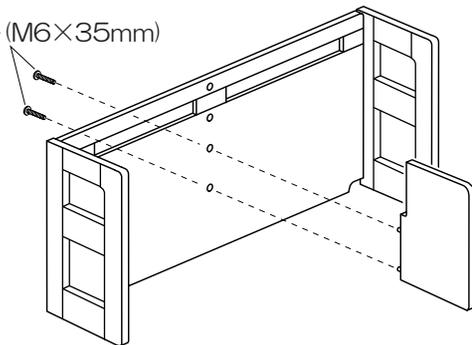
⚠ 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
 → お子様が進み込むことがあります。
 ⚠ スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
 組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
 → 部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップ類は、上段がWW色、中段がNS色、下段がBS色の▲ボルトは、上段がWW色、下段がNS/BS色の部品品番となります。

全STEP共通

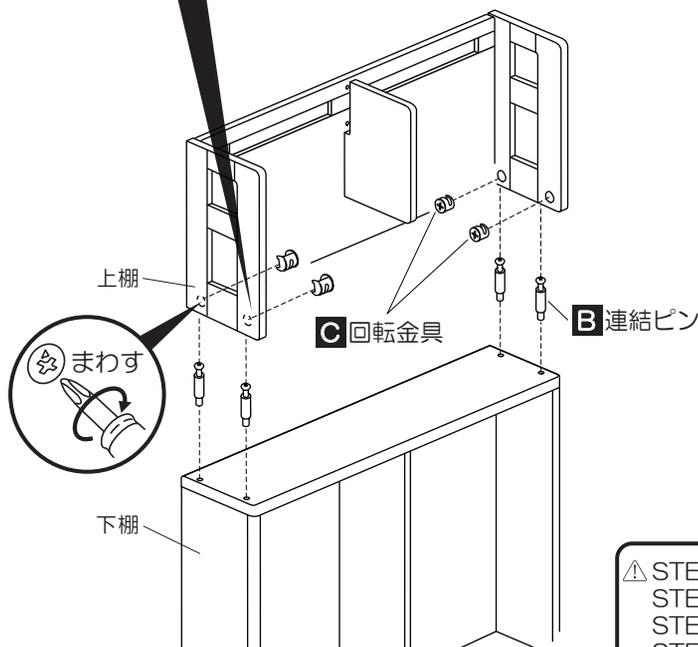
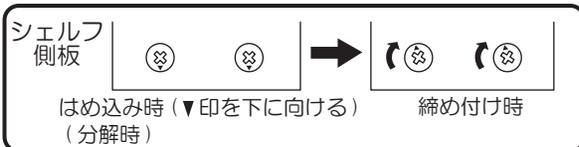
■上棚中央仕切板の取り付け

A ボルト(M6×35mm)



STEP3の場合

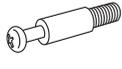
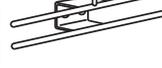
■上棚と下棚の取り付け



⚠ STEP1・STEP2・STEP4・STEP5の場合はデスクを先に組み立てた後、STEP1はP5のスタイル別組付け方法を、STEP2・STEP4はP6・P7のスタイル別組付け方法を、STEP5は、P7のスタイル別組付け方法をご参照ください。

2 デスクの組立て方法

■ デスク付属品

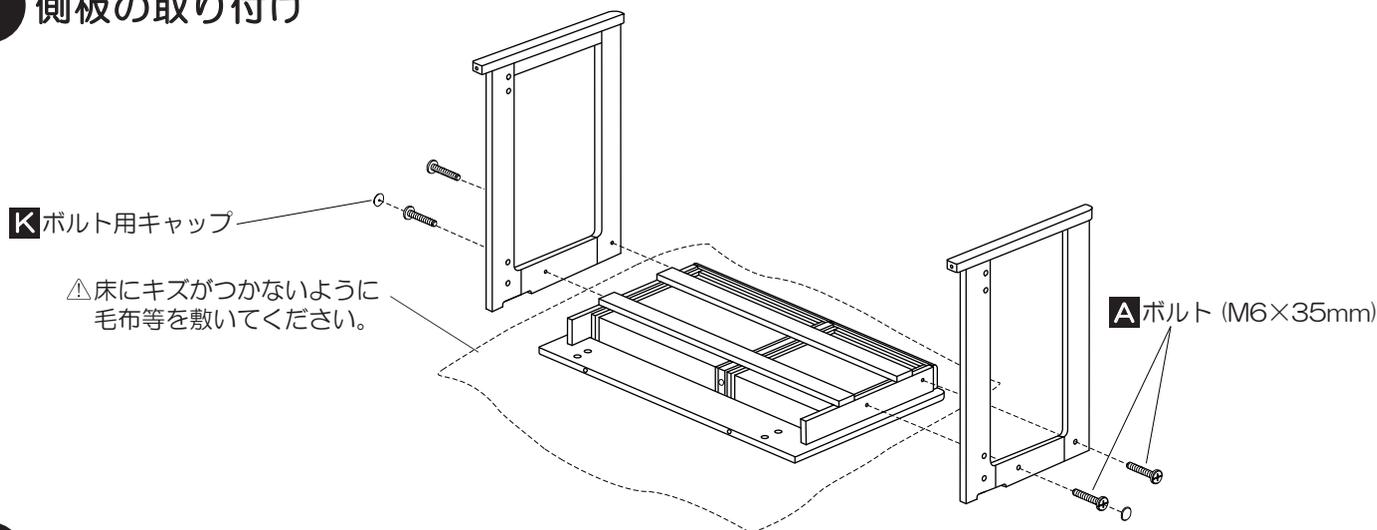
A	B	C	D	E	K	L	M
ボルト(M6×35mm) GKU4BJ635 GKU4BU635	連結ピン SZC8MB605	回転金具 SZC8MKN18	穴かくしキャップ SZCTAC18W SZC9AC18V SZC9AC18R	ナット用キャップ SZC4DC17W SZC4DC17V SZC4DC17R	ボルト用キャップ SZC4BC19W SZC4BC19V SZC4BC19R	カバンフック SZC4KF20W SZC4KF20V SZC4KF20R	トラスボルト(M6×25mm) GKU4BW625
 ×13	 ×2	 ×4	 ×2	 ×3	 ×2	 ×1	 ×1
N	O	P	カギ	Q	R	S	
ボルト(M6×90mm) GKU2BU690	ボルト(M6×16mm) GKU4BU616	拡張天板受金具 SZC2LKSUK	LTFTKD503	ボルト(M6×16mm) GKU4BJ616 銀色 ※部品バックに付属	ランドセルハンガー TIT4KFRAN	ガッチリ金具 SZC1GK230 (M6-30) ×2 ×2 1セット	
 ×2	 ×6	 ×2	 1セット	 ×2	 ×1	 1セット	

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップ・カバンフック類は、上段がWW色、中段がNS色、下段がBS色の■ボルトは、上段がWW色、下段がNS/BS色の部品品番となります。

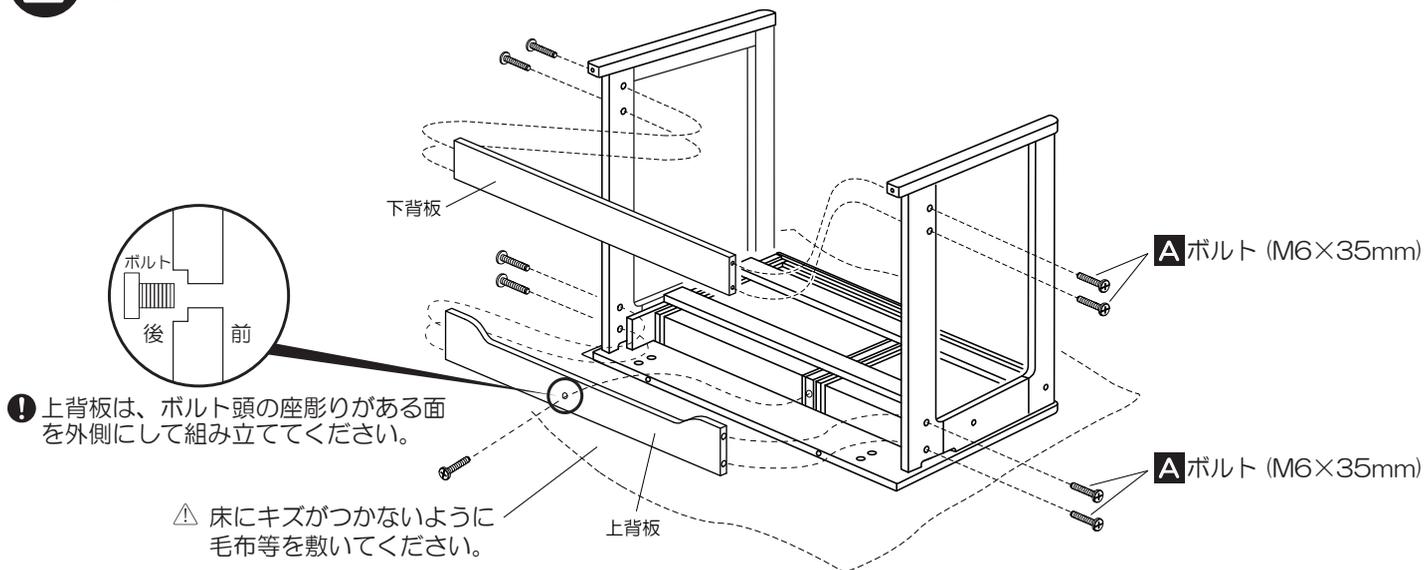
- ⚠ 小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
→ お子様が飲み込むことがあります。
- ⚠ スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
→ 部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

STEP1・STEP3・STEP5の場合

1 側板の取り付け



2 背板の取り付け

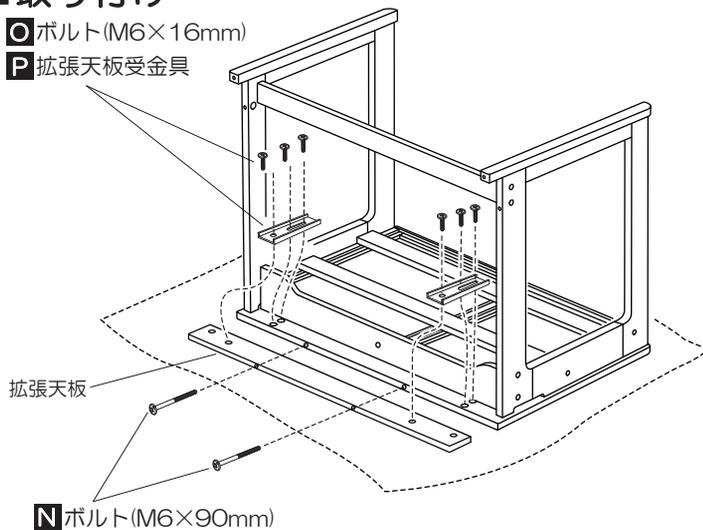


3 拡張天板の取り付け・収納

△STEP1の場合は拡張天板を付けずにご使用ください。
 その他のスタイルでは拡張天板を付けても、収納してもご使用いただけます。

■ 取り付け

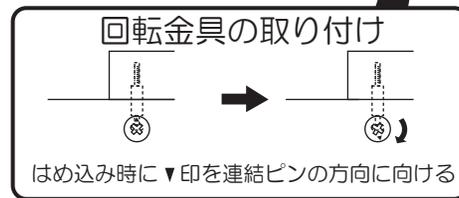
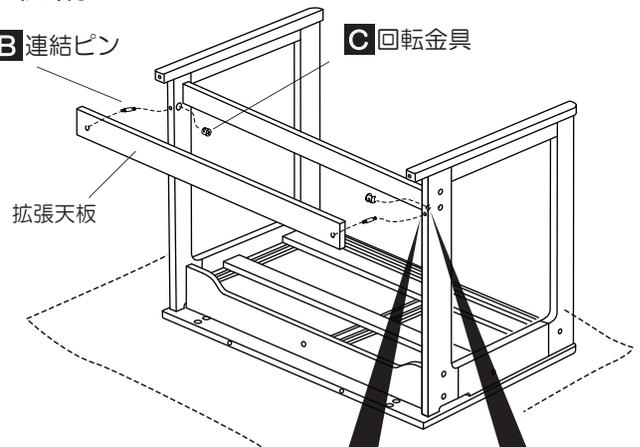
- ボルト (M6×16mm)
- P 拡張天板受金具



N ボルト (M6×90mm)

■ 収納

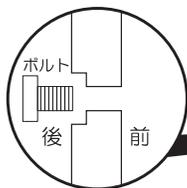
- B 連結ピン
- C 回転金具



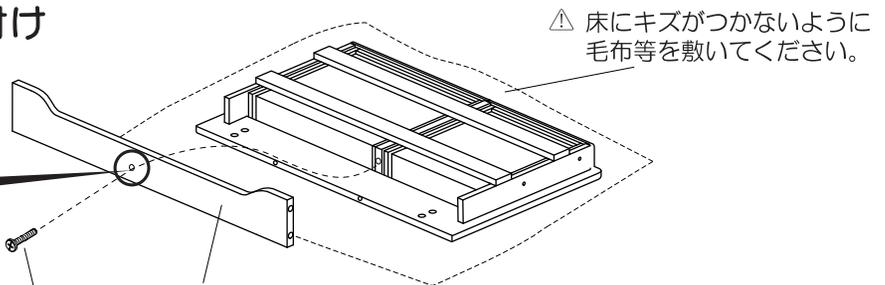
STEP2・STEP4の場合

※STEP2・STEP3のスタイルでご使用される場合は、まず拡張天板を取り付けて天板を広くして使用するか、収納して天板面をコンパクトにして使用するか決めてから組立て作業を行ってください。
 ※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(P1のSTEP2・STEP4の図) 右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立てしてください。

1 天板と上背板との取り付け



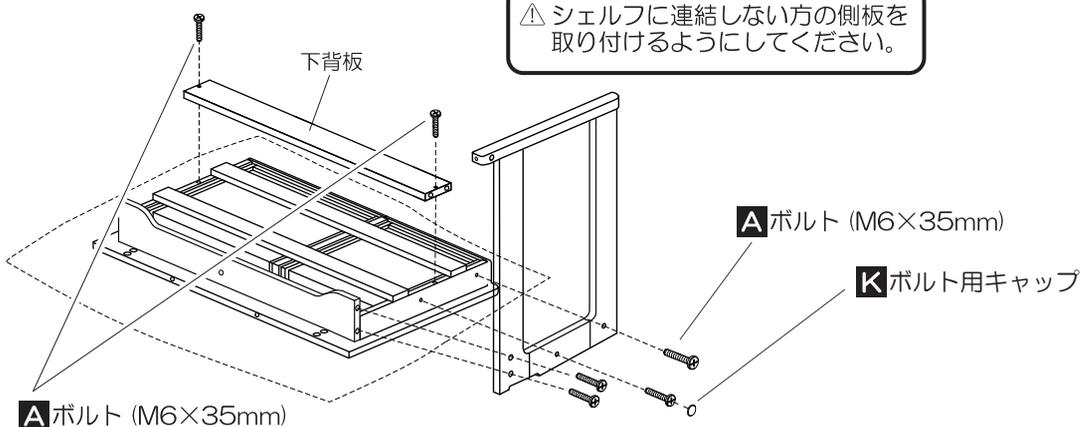
① 上背板は、ボルト頭の座彫りがある面を外側にして組み立ててください。



A ボルト (M6×35mm)

2 天板、上背板(大)と側板との取り付け ・下背板(小)の収納方法

△シェルフに連結しない方の側板を取り付けるようにしてください。



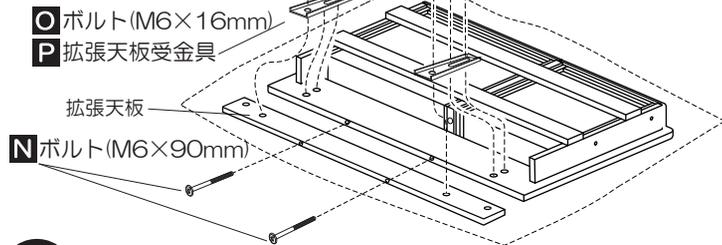
A ボルト (M6×35mm)

K ボルト用キャップ

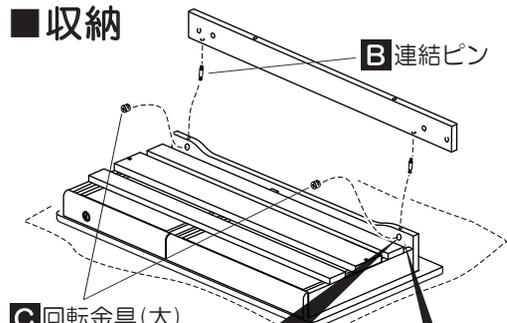
A ボルト (M6×35mm)

3 拡張天板の取り付け・収納

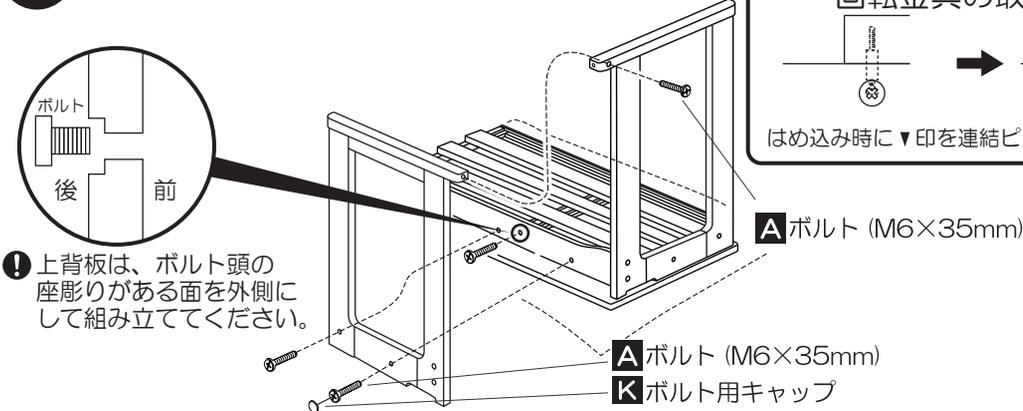
■取り付け



■収納



4 側板の背板・側板への取り付け

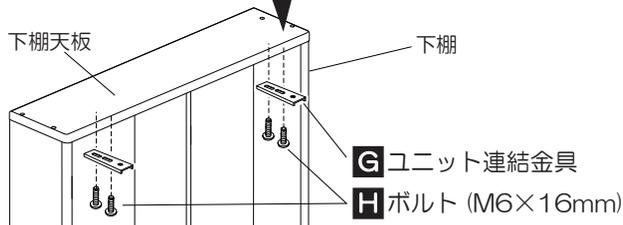


! 上背板は、ボルト頭の座彫りがある面を外側に組み立ててください。

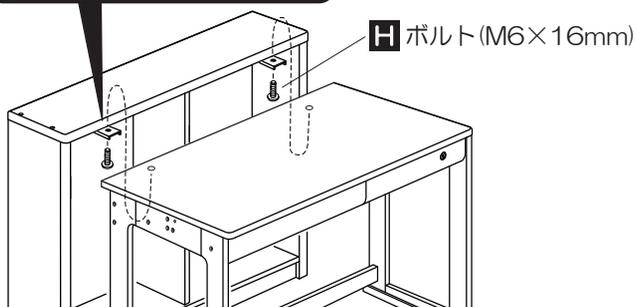
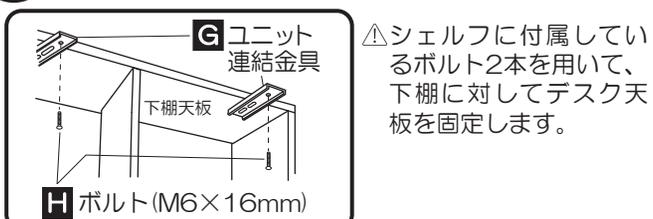
3 デスクとシェルフの組付け方法

STEP1の場合

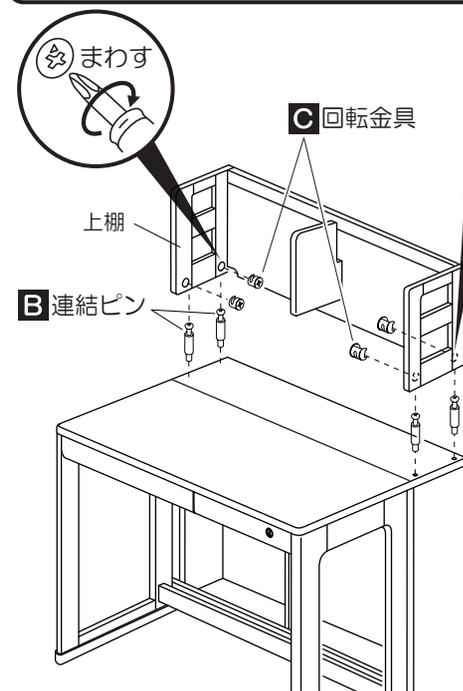
1 ユニット連結金具の取り付け



2 下棚とデスクの組み付け



3 上棚と下棚の組み立て

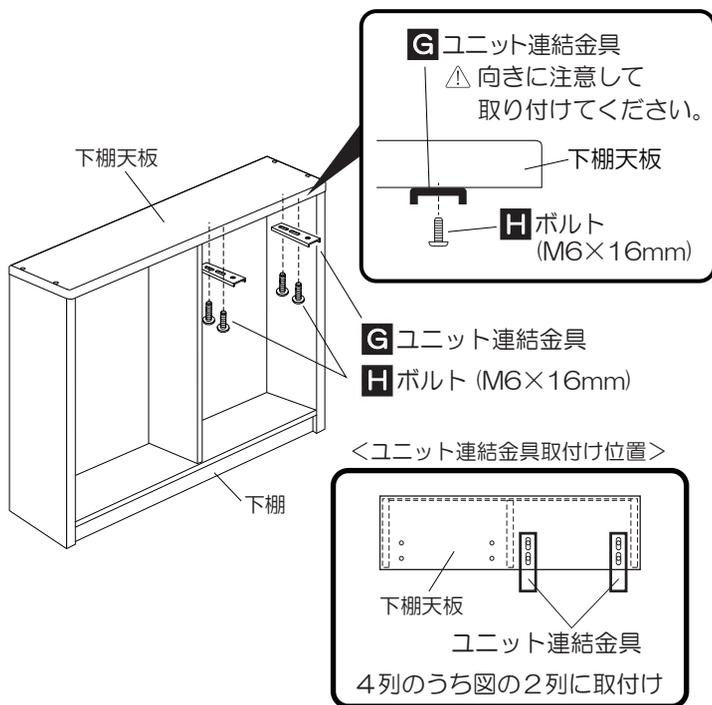


STEP2・STEP4の場合

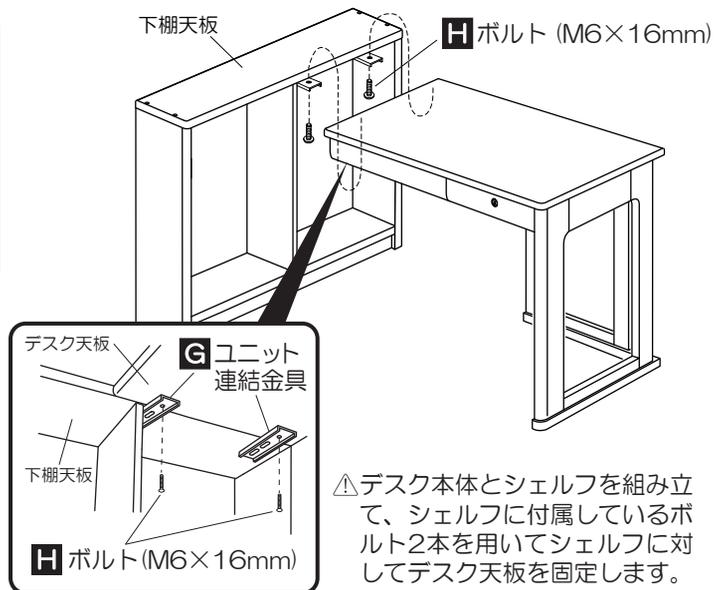
※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(この真下の図)
 右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。

■ 拡張天板を取り付けていない場合

1 ユニット連結金具の取り付け

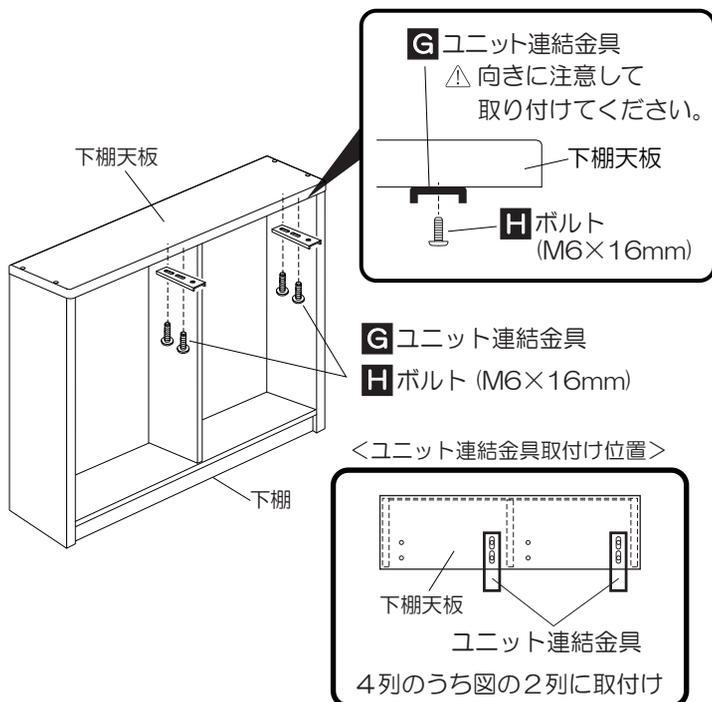


2 下棚とデスクの組み付け

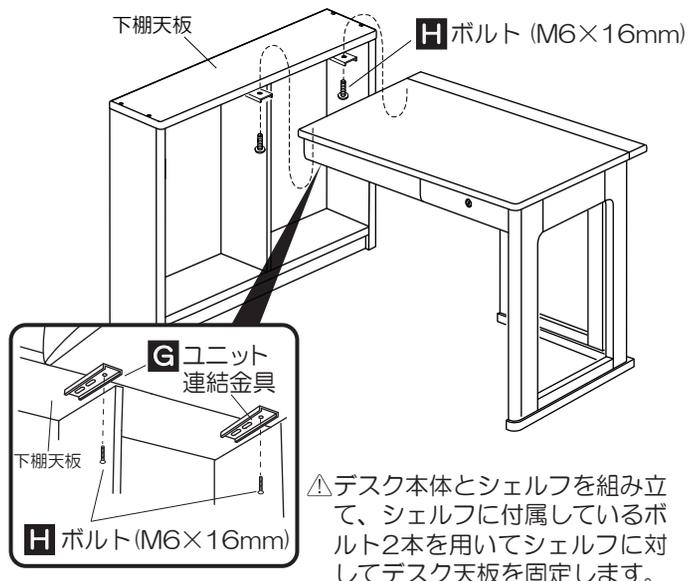


■ 拡張天板を取り付けている場合

1 ユニット連結金具の取り付け

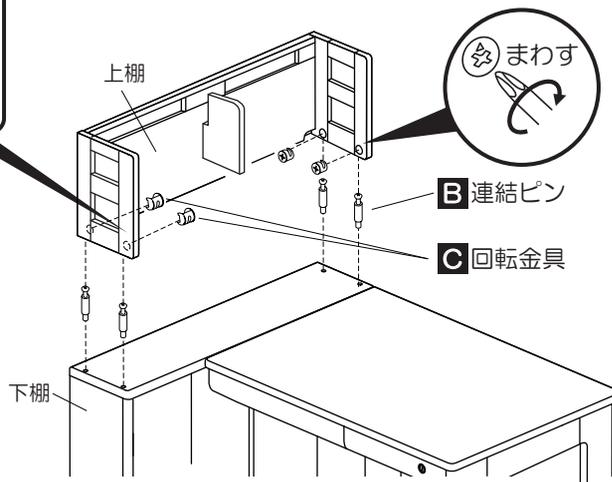
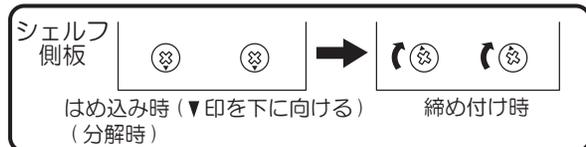


2 下棚とデスクの組み付け



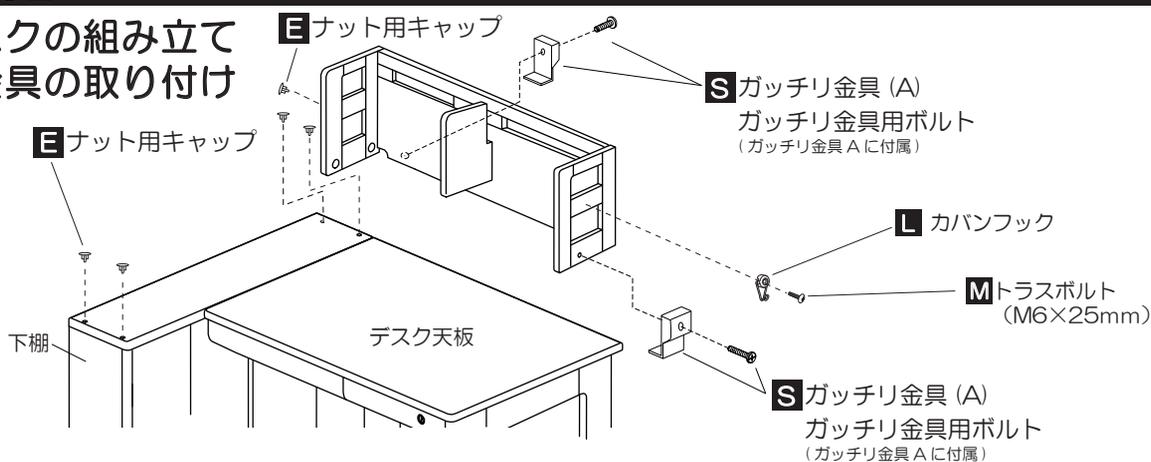
STEP2の場合

■上棚と下棚の取り付け



STEP4の場合

■上棚とデスクの組み立て ■ガッチリ金具の取り付け



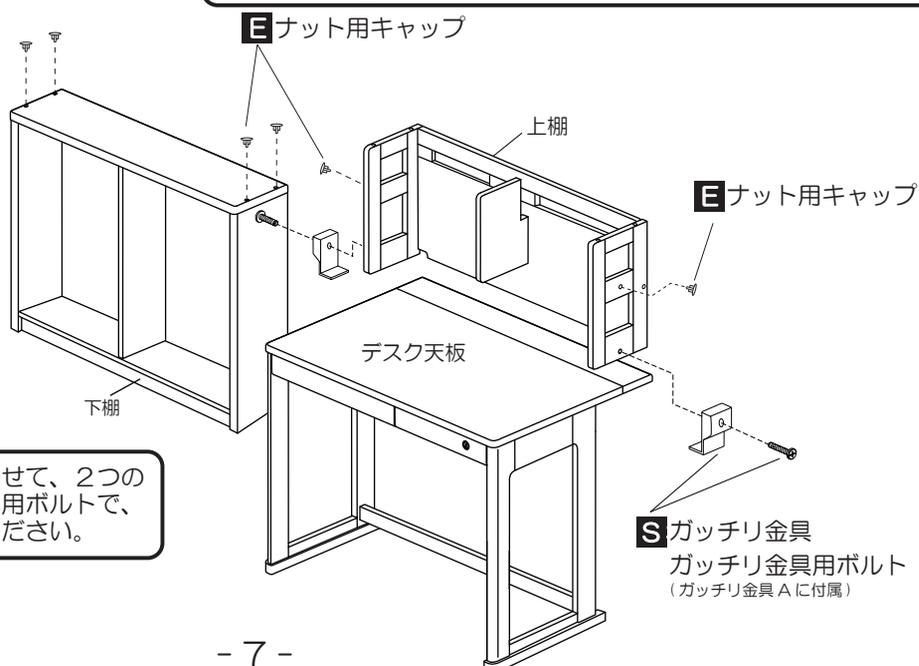
△ 組立て終わってから最後にもう一度上棚側板と背板に使用した **S**ガッチリ金具を増し締めししっかり固定してください。

STEP5の場合

■上棚とデスクの組み立て ■ガッチリ金具の取り付け

※デスクの拡張天板を取り付けても、
取外してもどちらの状態でも、上棚
を乗せ、組み立てることができます。

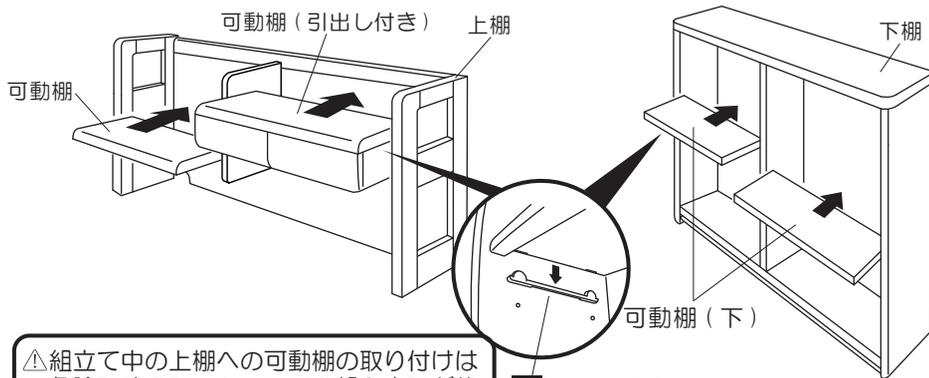
△ シェルフ側板には、**L**カバンフックを取り付けることも出来ます。
取り付ける場合は、10 ページ9つの「カバンフック」の取付け方
をご参照ください。デスク側板に取り付ける場合は、下記イラスト
のように **E**ナット用キャップを取り付けてください。



△ 上棚の左右側面のボルト穴に合わせて、2つの **S**ガッチリ金具と **S**ガッチリ金具用ボルトで、
デスク天板としっかり固定してください。

4 可動棚の取付け方法

■下棚・上棚への可動棚の取り付け



△組立て中の上棚への可動棚の取り付けは危険ですので、シェルフの組み立てが終わってから行ってください。
→ケガ・破損の原因になります。

F 樹脂棚ダボ

○可動棚の耐荷重は15 kgです。
→15 kg以上のものを乗せると破損やケガの原因になります。

○引出しの耐荷重は1 kgです。
→1 kg以上のものを入れるとシェルフが倒れて破損やケガの原因になります。

※可動棚(下)は、中棚への取り付けはできませんのでご注意ください。

5 可動仕切板の取付け方法

■可動棚への取付け方法

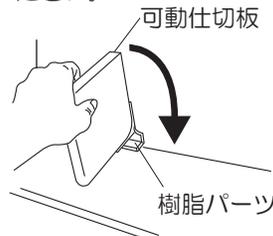
△可動仕切板を取り付ける際は、可動棚の上に物がのっていないことを確認してください。



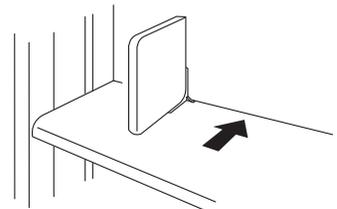
① 可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。



② 可動棚の後に可動仕切板の樹脂パーツをはめ込んでください。

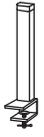


③ 樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから、可動棚をもとの位置に戻してください。

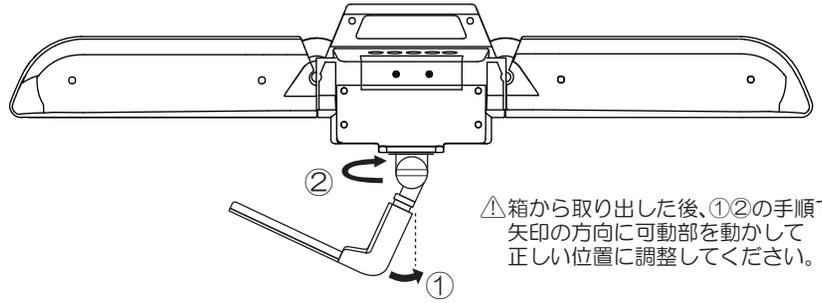


6 照明器具の取付け方法

■ライト付属品

A	B	C
ライト取付けボルト M6×30mm(長)	クランプ取付けボルト M6×15mm(短)	クランプ
		
×2	×2	×1

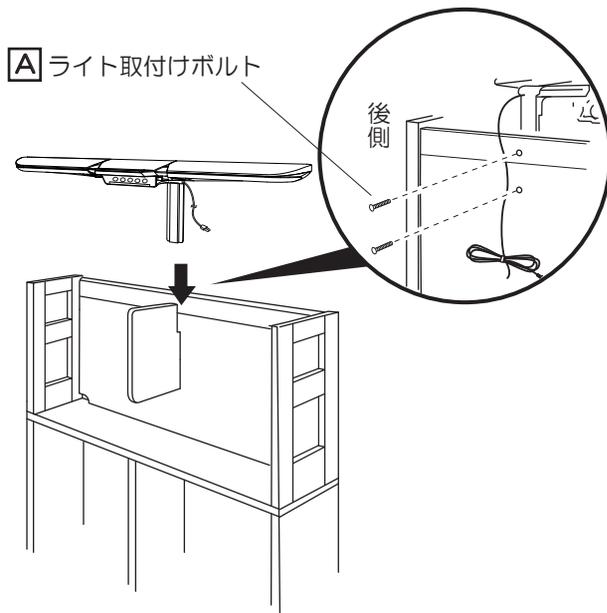
△のボルトは最初から取り付けてあり、
 ㊸のボルトはクランプの後にテープ止めしてあります。



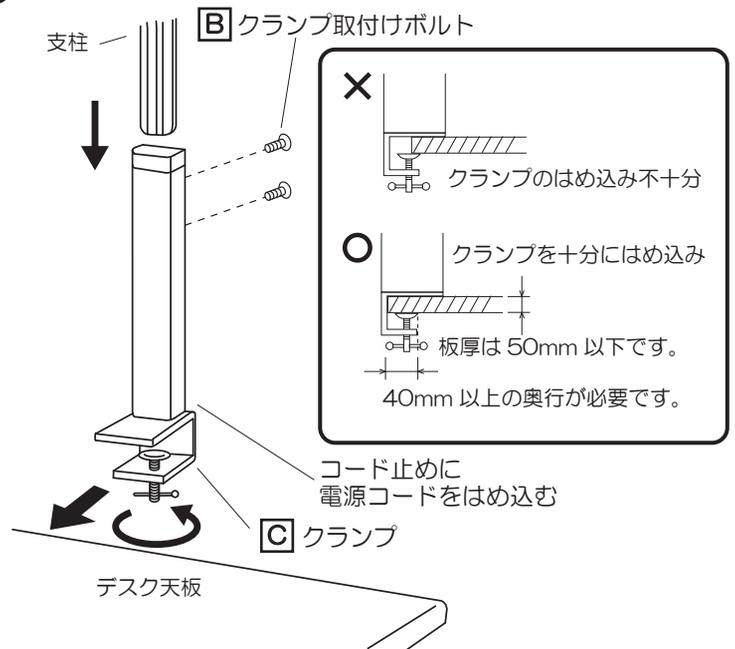
△箱から取り出した後、①②の手順で
 矢印の方向に可動部を動かして
 正しい位置に調整してください。

STEP1・4・5の場合

⓪ライトを付けて使用する場合、シェルフを単独で
 使用しないでください。デスクとシェルフを連結した状態
 でご使用ください。
 →転倒し、火災・ケガ・破損の原因になります。



STEP2・STEP3の場合

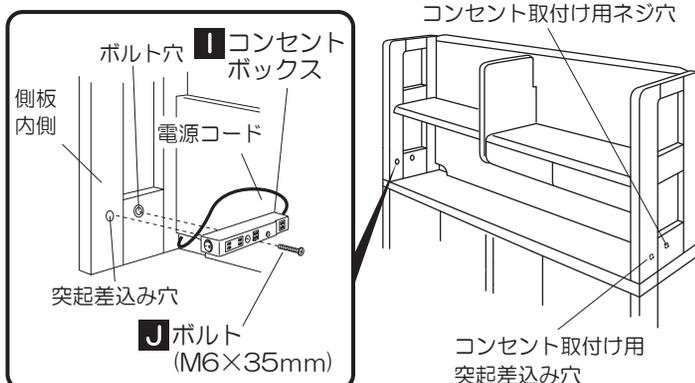


7 コンセントの取付け方法

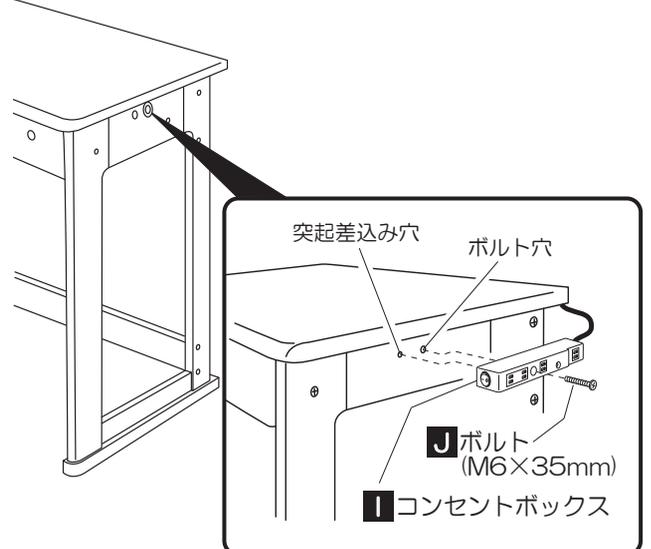
△コンセントボックスを取付けない箇所の突起差込み穴には㊸穴かくしキャップを、
 ボルト穴には㊹ナット用キャップをはめ込んでください。

■中棚へのコンセントの取り付け

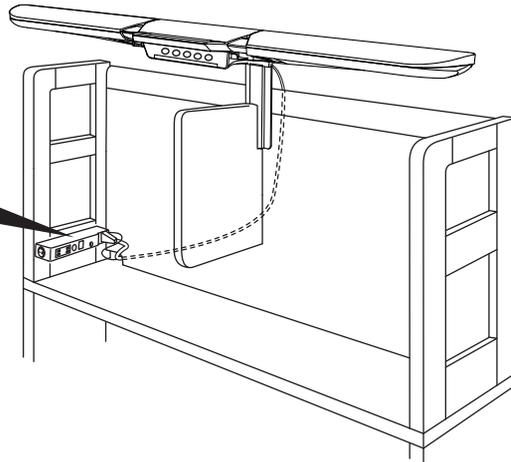
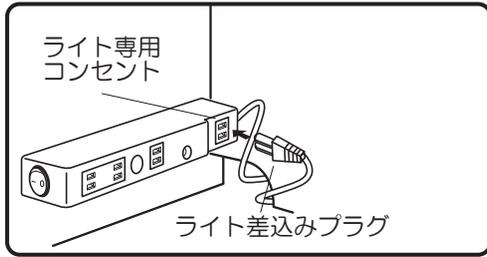
⓪コンセントボックスを付けて使用する場合、シェルフを単
 独で
 使用しないでください。デスクとシェルフを連結した状態
 で
 ご使用ください。
 →転倒し、火災・ケガ・破損の原因になります。



■デスクへのコンセントの取り付け



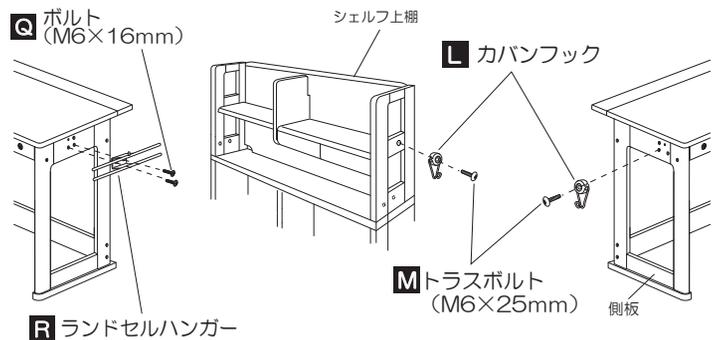
8 ライトとコンセントの結線



⚠ コンセントボックスの一番奥のコンセントにライトの差込みプラグを差し込んでください。ライト専用コンセント以外のコンセントに、ライトの差込みプラグを差し込んだ場合コンセントボックスのスイッチでのライトの点灯・消灯はできません。

9 ランドセルハンガーとカバンフックの取付け方

- ①側板の左右いずれかに、ランドセルハンガーとカバンフックをそれぞれの専用ボルトを用いて取り付けてください。(カバンフックはシェルフ上棚の側板左右にも取付けできます。)
 - ②ランドセルハンガーとカバンフックを取付けない箇所のネジ穴には **E** ナット用キャップをはめ込んでください。
- ※ランドセルハンガーの使用方法については別紙で付属しております取扱説明書の、【ランドセルハンガーの使用方法】をご覧ください。ランドセルハンガーとカバンフックの耐荷重は10kgです。10kg以上のものを掛けると破損やけがの原因になります。



10 ワゴンの組立て方法

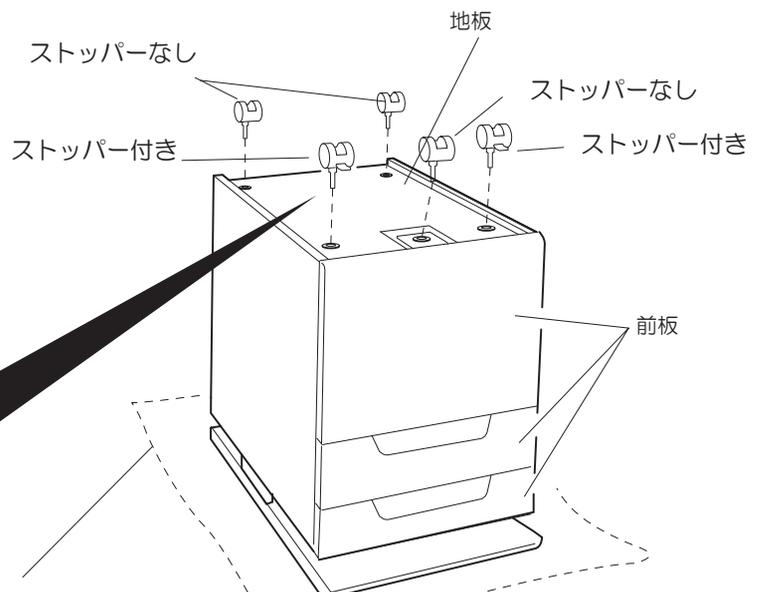
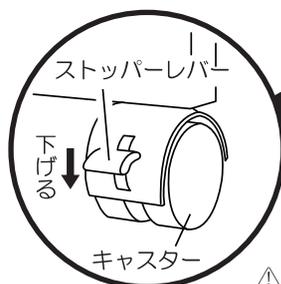
※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

■キャスターの取り付け

- ①床の裏にキャスター4個を差し込んでください。前側には、ストッパー付きキャスター（2個）を取り付けてください。
 - ②下段引出しの下キャスター取付け穴に、キャスター（ストッパーなし）1個をしっかりと差し込んでください。
- ワゴンにはキャスターにより、自由に移動できます。
 - 移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

ワゴン付属部品		
キャスター (5個入り)	ベントレー	仕切板 (下引出し用)
SZC9WC94G		
×1セット	×1	×2

⚠ キャスター1セットは、ストッパー付きが2個、ストッパーなしが3個となります。



⚠ 床にキズがつかないように毛布等を敷いてください。

11 分解と組替方法

- 引越しなどで分解する必要がある場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。
- スタイルを組替える場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただきながら、分解していただき、さらに表紙のイラストのどのスタイルにするかを決定のうえ、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、組立てしてください。
- 分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。
- 分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。
- 組替え方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、組み替えの際には一度ご確認ください。 <http://kagu.koizumi.co.jp/>

12 コイズミ学習デスク保証書

<無料修理規定>

- 1.組立説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理**をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼**ください。
 - ②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
- 2.保証期間内でも次の場合には**有料修理**になります。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ②お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
 - ③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障および損傷
 - ④消耗品の消耗、又はそれによる故障
 - ⑤本書のご提示がない場合
 - ⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き換えた場合
- 3.本書は日本国内においてのみ有効です。
- 4.本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

*ご販売店様へ

必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	WDF-875WW WDF-876NS WDF-877BS (引出し内の白いうラベルで品番をご確認ください。)	(お願い) お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保管してください。
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
	電話番号 () -	
お買い上げ日	販売店名・住所・電話番号	
年 月 日		
保証期間(お買い上げ日より)		
3ヶ年		

13 お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◇お客様相談室 〒550-0011
大阪市西区阿波座2丁目1番1号 大阪本町西第一ビルディング2F Tel.06(6535)9865

コイズミファニテック株式会社

〒550-0011 大阪市西区阿波座2丁目1番1号 大阪本町西第一ビルディング2F

所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご容赦ください。